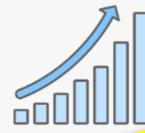


「校内支援委員会の充実」の視点から 通常学級の学びの充実をめざす



佐久市立高瀬小学校 藤澤 直子

校内支援委員会の役割は…？
⇒就学の判断に関する書類の作成？



特別支援学級への
入級者の増加、
入級率の高さ

LD 等通級指導教室
が新設される

通常学級においても「個別の指
導計画」を作成したいという願い

多様な理解の仕方をする子ども
がいるという認識を持ち始めた
教職員



校内支援委員会で、特コは…

担任から「気になる子・配慮が必要だと思われる
子」の相談があったら、まず委員会を招集し検討

受け身的だが素早い取組

全学級で「スクリーニングチェックシート」による絞り込
みを行い、チェックの多かった児童 2～3 名について「通
常の学級における個別の指導計画」を作成し、計画的に
委員会で見守り

担任から見えにくい
「静かに困っている子」の積極的な見出し

オリジナル
スクリーニング
チェックシート

どんな支援が考えら
れるか、みんなで個
別の指導計画づくり



LD 等通級指導教室の利用により、その子は… その子の在籍する学級は…

自分に適した学び方があることを知り、学校に
来ることが楽しくなった M さん

自己理解の深まり

自分が必要とするツール（アイテム）を、学級の友だちに
教えることで感謝され、多様な学び方があってよいことを
受け入れている H さんの学級

「特別なこと」ではなく、いろいろな
学び方があって当たり前という感覚



- ・通常学級か特別支援学級か、だけではない学びの場の選択
- ・多様な分かり方、多様な学び方があって当たり前という感覚をも
った子どもと先生のいる教室

通常学級の学びの充実